

留学報告書

～自分を成長させてくれた国～

フィリピン大学
外国語学部生（長期）

私は、長期でフィリピン大学に留学していました。私は、3歳のころから英語を習い始め、英語だけは誰にも負けたくないという気持ちでずっと勉強していました。今までに何度か留学に行ける機会があったものの、自分の英語が相手に通じるかわからないという不安から1歩勇気を踏み出せず、大学に入学するまで1度も海外に行った経験がありませんでした。就職したら海外なんて滅多に行けないということはよく耳にしていたので、後悔しないためにも、在学中に留学に行くということは入学した時から決めていました。留学先をフィリピンに決めた理由は、英語が第2言語の国同士なのに、英語の出来にどうしてもこんなにも差が出るのか気になったからです。

留学に行く前は、フィリピンは親日の方が多いという印象の反面、スラム街も多く存在し、危険な印象も強かったので、留學生活に期待をしながらも不安な気持ちも強く、とても複雑な気持ちでした。しかし、いざ留学に行ってみると、私の不安とは裏腹に、毎年50倍ぐらいする倍率を勝ち抜いた学生たちの集まりで、フィリピンの東大と呼ばれているのも納得できるぐらい賢い学生ばかりで、日本で普通に学生生活を送ったぐらいでは経験できないようなことも多く、毎日がとても刺激的でした。留学に行くという1歩を踏み出したのはよかったと思いますが、最初のほうは、同じ大学から一緒に行く人もおらず、自分の英語が相手に通じるかわからないという以前に1歩踏み出せなかった不安が、英語しか通じない状況で私に襲い掛かりました。私が留学に行った年は、例年の倍ぐらい日本からの留学生が来ていたこともあり、現地で暮らし始めてからしばらくは、日本人としか関わっていなかったような気がします。しかし、日本人同士で仲良くしている他の子たちを見たとき、いかに私が今までくだらない理由で無駄な留學生活を送っていたかということに気づかされました。このままでは何のために1歩踏み出して留学に来たのかわからなくなってしまうので、それからは、クラスメイトであるフィリピン人の学生や、同じ寮に住む別の国から来た留学生たちと積極的に話すようになりました。ただ挨拶をするだけの人もいましたが、授業で分からないところを教えてもらったり、フィリピンのことについて教えてもらったり、世間話をしたり、ご飯に行ったり、遊びに行ったりする機会も次第に増え、だんだん人と話をするのがこんなにも楽しいことだったのかと感じるようになりました。

授業に関しては、私が留学に行った大学にESLのプログラムがなかったので、最初からずっと現地の学生と一緒に授業を受けていました。やはり、授業のやり方が日本とは違うことも多かったのですが、最初はついていくのに必死で、慣れるのにも少し時間がかかりました。日

本では、授業中に自分の意見を言わなければならないということなどほとんどなかったのが戸惑うことも多かったのですが、言わないよりかは何かを発言したほうがいいし、何を言っても 1 つの意見として否定せずに受け入れてくれたので、次第に周りの反応を気にせずいろいろと発言できるようになり、日本とは違った環境でたくさんのことを学ぶことができました。ただ、グループで宿題やプレゼンテーションをする機会が多かったのですが、前日の夜になるまで誰も何も言わなかったり、メッセージを送ったりしてグループを動かそうとする人が誰もいなかったことにはとても驚きました。私が事前に何かを言っても、特に返事をくれることはほとんどなかったもので、最初はこのまま同じグループのメンバーとやっていけるのかがとても不安でした。さらに、メッセージも英語ではなくフィリピン語やタグリッシュという英語とフィリピン語が混ざった形で送られてくることもあったので、私自身が少しフィリピン語を理解できるようになったとしてもまだまだ分からないことも多く、いろいろな面で苦勞することが多かったような気がします。また、先生でさえもギリギリまでメールを送らず、前日の夜になって大量の宿題を送ってくることもあり、とても大変でした。他の留学生にも私と同じような経験をしている人も多かったので、フィリピンのお国柄的なものなので仕方がないとは思いますが、初めて経験する人にはなかなか理解されないものだと思いますが、私自身は自分が生活していく中で次第に慣れて、このような国の違いもだんだん受け入れられるようになりました。

さらに、授業がいきなり休講になることもあり、数日でも休みがあればどこかほかの国に遊びに行くフットワークの軽い学生が多かった印象です。1人で出かける学生も多く、私にとっては、今まで出会ってこなかったようなタイプの人ばかりで、とても新鮮でした。今までの私は、周りの目を気にしすぎて通学以外にご飯に行ったり、旅行に行ったりなど1人でできることがあまりありませんでした。しかし、今回の留学を通して1人でご飯に行ったり、出かけたり、旅行をするまでフットワークが軽くなったような気がします。私と同じ日本人でも、自分なりの考えをしっかりと持っている人も多く、最初は自分とは違う考え方に戸惑うこともありました。しかし、彼らは人一倍に卒業後のことなど将来のこともしっかりと考えていて、同年代の同じ国籍の人と話しているだけなのに、私にとっては、すごく刺激になることばかりでした。私も、これからは彼らの意見も踏まえ、様々な面から物事をとらえ、考えられるような人になりたいと思います。また、自分の将来についてもしっかりと考えていきたいです。

1人ではフィリピンのセブ島やマカオにも行きましたが、もちろんこの留学を通して仲良くなった子とも一緒に旅行に行くこともありました。飛行機の予約から宿泊先の予約、行き先から何をするかを決めるのもすべて自分たちで行ったことで、みんなとの仲も深まり、とても有意義な旅行になりました。セブ島やパラワン島など観光に人気な名所にもたくさん行くことができ、とてもフィリピンを満喫することができたので、私の中では本当に充実した留学生活を送ることができたと思っています。授業の面で、もっとこうしておけばよかったなど後悔してしまう部分はもちろんありますが、フィリピンを選んだことに関して、私は

全く後悔していません。

この留学に行く前にも、アメリカに短期留学に行った経験があるのですが、アメリカに行った時には経験できなかったことも多かったので、今まで行ったことのない国で新しいことにたくさん挑戦し、様々なことを吸収することができ、いろいろな面で自分が成長できたので、今回の留学に参加できて本当によかったなと思います。